

〔第34回〕

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

めざす基礎老化研究と 応えるジェロサイエンス研究

ジェロサイエンス研究センター

丸山 光生 センター長

2025年3月18日(火) 15時00分～

第1研究棟2階大会議室

1970年以来、50年以上百寿者が2024年には9万5千人を超えた。こうした我が国の高齢化社会には平均寿命の延びとともに健康寿命の延伸をめざしつつ、老化の要因や仕組みに関する研究から得られた成果をどのようにして、一人ひとりの健康長寿、あるいは生活の質(QOL)の向上に繋げていくことができるかが肝要な課題といえる。2021年4月に加齢に伴って生ずる心身の変化および疾患の発症の要因やメカニズム等の解明を目指し、予防、診断、治療法の開発につながる基盤的な調査や研究を行う組織としてジェロサイエンス研究センターが発足した。当時、新設された私たちのグループである炎症・免疫機構研究部は4年になる2025年3月に一区切りを迎える。本セミナーでは私自身の研究歴を振り返りながら、40年近く取り組んできた基礎的な研究と最後に辿り着いたジェロサイエンス研究としての老化研究の結果も交えながら、技術、手技の斬新性、あるいは独創性だけで推進できる事が多い基礎老化研究と社会科学から自然科学までの他分野にわたる専門家、研究者、医療従事者が連携して、複眼的思考で社会・国民の付託に応える研究について、俯瞰的に紹介したいと考えている。

座長：統合生理学研究部 佐藤 亜希子 副部長
連絡先：GSRCセンター長室(内線5002)